

とよはし 市議会だより

TOYOHASHI CITY COUNCIL

平成25年9月定例会



現在の豊橋駅



昭和45年に誕生した豊橋ステーションビル



昭和25年に誕生した豊橋駅

豊橋駅 今昔

昭和25年に駅舎と民間商業施設が一つになった日本初の民衆駅「豊橋駅」が誕生しました。その後、昭和45年に豊橋ステーションビルとして全面リニューアル。平成10年には豊橋駅、カルミア、ペデストリアンデッキが完成しました。

終戦後もまもなく完成した豊橋駅から半世紀以上がたち、民衆駅という理念をそのままに、現在も活躍しています。

主な 内容	9月定例会の概要	2~3
	議決結果	3
	いっぱん質問	4~12
	陳情	6
	意見書	7
	委員会の動き	10~11
	委員会の視察	12~13
12月定例会の開催日程	14	

豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL 51-2920 FAX 55-9020
<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/gikai/>

No.
291

2013年11月1日発行

平成24年度 一般会計 特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会は9月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、3日間にわたり17人の議員が一般質問を行いました。

次に、平成25年度一般会計補正予算など予算案3件、平成24年度一般会計、特別会計および企業会計の決算認定12件、市税条例の一部を改正する条例など条例案4件、工事請負契約締結など単行案等9件の合計28件の市長提出議案と、市民から提出された陳情8件について、委員会審査を行いました。

最終日の24日には審査を終

了した議案をそれぞれ可決等しました。その後、委員会への付託を省略した議案1件について異議はない旨を決定、市長から7件の報告、議員提出の意見書2件を可決しました。



主な議案の概要

▼一般会計補正予算

災害対応強化費として避難所非構造部材耐震診断の実施、保育サービス費として正林寺保育園大規模改修、農業生産力強化費として経営体育成支援事業費補助金、地球環境費として次世代自動車充電インフラ整備事業、観光情報発信費としてインバウンド調査研究事業（緊急雇用創出事業）など合計4億6311万7000円を補正するものです。

▼国民健康保険事業

特別会計補正予算
償還金及び還付加算として
保険税還付金を3000万円
補正するものです。

▼総合動植物公園事業

特別会計補正予算
寄附金等の156万6000円を総合動植物公園整備基金へ積み立てするために補正するものです。

会議日程

8月19日	議会運営委員会
26日	議会運営委員会
30日	議会運営委員会
9月2日	本会議（第1日）
3日	議会運営委員会 本会議（第2日）
4日	本会議（第3日） 一般会計予算 特別委員会 決算特別委員会
9日	環境経済委員会 総務委員会
10日	建設消防委員会 福祉教育委員会
11日	一般会計予算 特別委員会
12日	決算特別委員会
13日	決算特別委員会
17日	決算特別委員会
18日	決算特別委員会
20日	議会運営委員会
24日	本会議（最終日）

▼市税条例の一部改正

年金所得者の納税の便宜および徴収事務の効率化、金融所得課税の一体化等を図るため、現行条例の一部を改正するものです。

▼市民館設置及び管理に関する条例の一部改正

前芝地区市民館を廃止し、新たに前芝校区市民館を設置するとともに、野依校区市民館の移転に伴う位置の変更をするほか、市民館の時間延長に係る使用料の額を定めるため、現行条例の一部を改正するものです。

▼工事請負契約の締結

南栄住宅建設工事施工のため4億6200万円、特別支援学校校舎等建設工事20億7900万円、特別支援学校校舎等建設に伴う電気工事2億6932万5000円、管工事2億5567万5000円、空調工事2億3940万円それぞれ契約を締結するものです。

▼物品購入契約の締結

老朽化に伴う更新のため、豊橋市民球場観客席椅子7315席を1億2366万75円で購入契約をするものです。

▼国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部が改正されたのに伴い、現行条例の一部を改正するものです。

▼小中学校施設使用料条例の一部改正

豊橋市立南稜中学校の体育館の建て替えに伴い、分割使用できる体育館として条例に追加するため、現行条例の一部を改正するものです。

▼人権擁護委員候補者の推薦

1人の人権擁護委員が任期満了となるため、再推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものです。

全会一致で原案可決等した議案

- ・平成25年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成25年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成24年度豊橋市競輪事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成24年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成24年度豊橋市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成24年度豊橋市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成24年度豊橋市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- ・平成24年度豊橋市水道事業会計利益の処分及び決算
- ・平成24年度豊橋市下水道事業会計利益の処分及び決算
- ・平成24年度豊橋市病院事業会計決算
- ・豊橋市市税条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市立小・中学校施設使用料条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・物品購入契約締結について(豊橋市民球場観客席椅子)
- ・人権擁護委員候補者の推薦について
- ・専決処分の承認について(平成25年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))

賛否が分かれた議案

○賛成 ×反対

()は所属議員数	議決結果	会 派 名						
		新政未来 (13)	豊流会 (9)	公明党 (5)	まちフォーラム (5)	日本共産党 (2)	とよはし市民会議 (1)	紘基会 (1)
平成25年度豊橋市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
平成24年度豊橋市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	○
平成24年度豊橋市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	○
平成24年度豊橋市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	○
平成24年度豊橋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	○
工事請負契約締結について(南栄住宅建設工事(第2期))	可決	○	○	○	○	○	○	×
工事請負契約締結について(特別支援学校校舎等建設工事)	可決	○	○	○	○	○	○	×
工事請負契約締結について(特別支援学校校舎等建設に伴う電気工事)	可決	○	○	○	○	○	○	×
工事請負契約締結について(特別支援学校校舎等建設に伴う管工事)	可決	○	○	○	○	○	○	×
工事請負契約締結について(特別支援学校校舎等建設に伴う空調工事)	可決	○	○	○	○	○	○	×

市政全般に対する

いっぱん質問

17人の議員が、市長に質問しました。

食物アレルギーの

取り組みについて

公明党豊橋市議員 沢田都史子議員

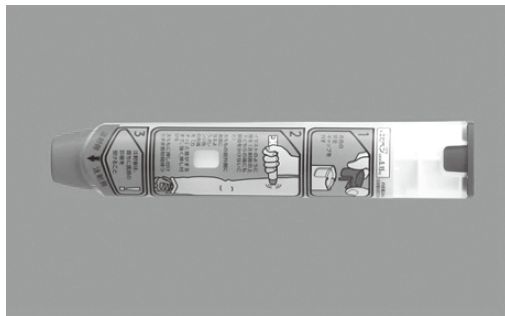


問 食物アレルギーのある女子児童死亡事故を受けて、文部科学省の有識者会議で再発防止策の検討、中間報告が発表されたが、アレルギー事故防止に向けた対応策について、また、児童生徒にアナフィラキシーショックが発症した際の対応および消防機関との連携について聞きたい。

答 東京都調布市の死亡事故を受け、今年の5月から給食の献立表のアレルギー表示を細分化し、充実させ、ガイドラインに基づいた対応がとれるよう、教員研修を充実させました。さらに、管理職対象のリスクマネジメント研修では、組織的な管理体制、緊急時の対応を含む個別マニュアル作成等について周知をしました。

また、救急車要請時には、食物アレルギーによるアナフィラキシーであることの伝達と合わせ、乗車時には管理指導表や対応経過記録票などの情報を確実に

に提供することが重要です。このような対応を消防機関と協議し、各学校の安全マニュアルに明記するなど、統一した対応が行われるよう周知を図りたいと考えています。



アドレナリン自己注射薬(商品名:エピペン)

その他の質問項目
 ・スーパードカタ(南海トラフ巨大地震等)への対応について
 ・「障害者優先調達推進法」の認識と対応について

生活扶助基準の

引き下げについて

日本共産党豊橋市議員 牧野英敏議員



問 生活扶助基準の引き下げによる利用者への影響について、また、今後消費税率アップや、物価上昇に伴う生活破壊が懸念されているが、生活保護申請に対する本市の対応について聞きたい。

答 生活扶助基準の引き下げに当たっては、生計に与える急激な変動を緩和するため、扶助費の減額が改定前の1割を超えないように調整した上で、3年の経過措置を設けて段階的に見直しが行われることとなっています。今回の改定により、全ての生活保護受給世帯の生活扶助費が減額となっていますが、就労に向けて技能習得をするための生業扶助費や、また、働いて得た収入ができるだけ多く手元に残るようにするための就労収入に対する控除は増額され、就労自立を支援する仕組みとなっています。

また本市では、昨年度より生活保護世帯の中高生への学習支

援を開始し、学習の機会と居場所の提供を行い、さらに本年度からは、家計相談や安定した居宅を確保する支援も始め、今後生活保護受給世帯の支援を積極的に続けていきたいと考えています。

生活保護申請に対する本市の対応について、低所得者層の方は、雇用や経済情勢が悪化した場合、いち早く影響を受けることは免れないため、相談に訪れた方、一人一人の状況に応じた丁寧な対応と案内を行っています。また、申請後は、保護決定もできる限り速やかに行い、安定した自立生活を送ることができるよう、個別の支援メニューに基づいた支援をきめ細かく行っていきたいと考えています。

その他の質問項目
 ・農業の活性化支援、6次産業化の取り組みについて
 ・安全安心な食品の確保、食品表示について

「子どもの最善の利益」

実現について

とよはし市民会議 渡辺則子議員



問 本市には「子どもの権利条例」がないが、子どもたちの人権意識が4つの権利（生きる・育つ・守られる・参加する）を基盤に醸成されるために、兵庫県川西市子どもの人権オンブズパーソン条例の調査・研究成果を生かして、子どもの権利学習を進める上での課題について聞きたい。

答 川西市においては、何よりも子どもの現実に関わり、子どもの最善の利益を確保するという理念に基づいて、オンブズパーソン制度を中心としたさまざまな仕組みが構築されています。この制度は、子どもを守るセーフティネットとして、第三者の専門家による相談機関が設けられていること、また、条例化することによって、市民意識の高揚が図られるという点が特徴となっています。

本市では、教育会館を中心とした各種相談体制や他の関連機関との連携体制が構築さ

れており、まずはこうした既存の体制をさらに充実させることが肝要であると考えています。こうした子どもを守るための枠組みを、今後どのような形で充実させていくかということに関しては、引き続き市長部局と連携を図る中で勉強していきたいと考えています。

MEMO

※子どもの権利条例

「子どもに対して最善のものを与える義務」を核とする子どもの権利条約が国連で1989年に採択され、日本が批准して今年で20年。県内では8県市町で子ども条例等が制定されています。

その他の質問項目

・「いじめ」の実態と「いじめ防止対策推進法」について
・子育て支援とソーシャルワークについて

三河湾の浄化と

汐川干潟について

新政未来 鈴木道夫議員



問 閉鎖性海域である三河湾の浄化対策と、国内でも有数の自然環境の場であり、渡り鳥の飛来地でもある汐川干潟の保全に関する取り組みについて聞きたい。

答 三河湾へ流入する工場排水、畜産排水および生活排水による汚濁を削減するため、工場・事業場への排水指導や臨海部進出企業との公害防止協定の締結などを行っています。

国・県においても、三河湾環境再生プロジェクト推進委員会などを立ち上げ、市町村、市民、NPO、流通・漁業・観光関係者などと連携・協働し、環境再生意識の向上と、多種多様な生き物が生息し豊富な水産資源に恵まれ、美しく豊かな海の再生を目指して、失った干潟・浅場の造成、深掘跡地の埋め戻しなどを想定した環境改善計画が検討されており、浄化に向けた取り組みが行われています。

汐川干潟は、全国的にも数

少ない天然の干潟であり、全国屈指の渡り鳥の飛来地で、本市を代表する自然エリア、環境学習の場としても貴重な財産として、シンボリックな拠点となっています。この干潟の適正な保全は、多種多様な生態系の命を育む場、水質浄化の場として必要不可欠です。秋には、汐川干潟の大規模な清掃活動を予定しており、市と530運動環境協議会が主体となり、地元など多くの方々にご協力を頂きながら連携の取れた効果的な活動をしたいと考えています。


また、今後は「里海」を再生するための、より実践的な保全活動が必要だと考えています。

その他の質問項目

・本市の国際交流の基本的な考え方について
・本市の公共工事の入札及び発注における諸課題について

ホームページのご案内

本号で取り上げた9月定例会の一般質問や委員会での議案審査など、会議内容は平成25年12月から閲覧できます。

*豊橋市議会ホームページから、本会議、常任委員会、特別委員会の会議録を読むことができます。本会議は、平成7年5月から、各委員会は、平成11年5月から検索して読むことができます。また、一般質問の録画中継  が平成23年6月からご覧いただけます。

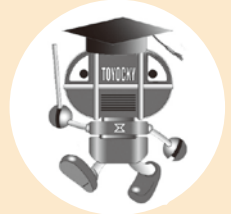
<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/gikai/>

豊橋市議会

検索



是非見てね



高齢者対応の スポーツ施設整備について

まちフォーラム 星野隆輝議員



問 運動広場について、高齢者に対応した施設の整備をすることで、高齢者福祉・医療や生涯スポーツの振興につながるという考えがあるが、高齢者スポーツ人口の増加に伴うトイレの設置数や日よけ対策の施設整備について聞きたい。

答 高齢者の方が健康的で豊かな暮らしを営むためには、スポーツを通じた体力づくりや生きがいづくりを支援することが重要であると認識しています。

運動広場は、高齢者向けスポーツやレクリエーションスポーツなど、多目的に利用可能な施設であり、その位置づけも行政財産としてスポーツの振興を目的とした施設と、普通財産を暫定使用している施設があり、これまでも一定の目的を持った施設においては、整備に努めてきました。

今後、高齢化社会の到来

を見据え、高齢者の方にも安心して利用していただけるよう、施設の利用実態や利用者の声を参考に、高齢者を含め、利用者視点に立った施設整備を目指していきたいと考えています。



その他の質問項目
・豊橋市地域防災計画の見直しについて

・都市計画マスタープランにある地域拠点の形成への取り組みについて

イベント開催時の 安全対策について

まちフォーラム 芳賀裕崇議員



問 花火大会会場での露店の爆発事故や、ゲリラ豪雨などで交通網がまひし、帰宅できず避難場所で一晩を明かすような事象が起きている。そこで屋外での危険物取り扱いに対する消防本部の指導・点検およびゲリラ豪雨など自然災害発生時の対応はどのように行われるのか聞きたい。

答 イベント等の屋台などで取り扱う危険物は取り扱う量が少なく、立ち入り検査の対象ではありません。したがって、屋台で取り扱う危険物に対する指導等は、毎年6月に全国一斉で実施する危険物安全週間や、春・秋の火災予防週間等の機会を捉えて、市民に対し、広報とよはしをはじめ各種広報媒体を活用し、危険物の安全管理についての注意喚起を行っています。事故発生を受けた対応としては、今後、同様の事故を防止するため、イベント主催者など関係団体に対し、事前

に火災予防対策の徹底についての指導を行うとともに、会場などにおいて露店業者等に対する火災予防上の指導を実施していきます。

また、ゲリラ豪雨のような天候急変時やこれに伴う交通機関のまひ時においては、正確な情報収集とともに、帰宅困難者等支援施設であることも未だ来館「ここにこ」や、新たに指定された穂の国とよはし芸術劇場「プラット」など安全な場所への的確な誘導に努めることとしています。今後、市が主体となる豊橋まつり等については、対策マニュアルを作成する過程で、どの公共施設をどのように活用していくかなども含め、消防・防災関係部署と連携し、調整を進めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・都市計画の諸課題について
・産業振興への取り組みについて

陳 情

- ◆ 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために、市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情
- ◆ 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情
- ◆ 原発事故「子ども被災者支援法」に関する陳情
- ◆ 身体障害者に関する陳情
- ◆ 教育予算編成に関する陳情
- ◆ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情
- ◆ 土砂災害防止施設の設置等に関する陳情
- ◆ 平成26年度豊橋市立小中学校図書館の充実を求める陳情

TPP参加に対する 農業の備えについて

新政未来 豊田一雄議員



問 7月、日本はTPP交渉会議に参加した。TPPに参加した場合に影響が甚大となる可能性のある農産物で、公益的機能や食糧安全保障のため生産を継続すべき品目への支援の在り方について、また、東海4県などが提案した「アグリ・フロンティア創出特区」の感想を聞きたい。

答 TPP参加は国の施策であることから、基本的には国が支援や助成を行うことが当然だと考えます。

市場原理と切り離し、公益的機能、食料安保の観点から、生産を維持すべき品目への支援については、あくまでも国の基本的な施策として、国民への十分な合意形成を図りながら、支援の方策や規模、実施期間などを農林水産省が中心となつて検討していくべきものと認識しています。日本農業の中核でもある本地域の生産現場の声をしっかりと伝え、施策に反

映してもらおうことが本市の大きな役割であると考えています。アグリフロンティア創出特区については、本市、田原市を含む日本有数の農業地域の意見が集約されなかったことは残念に思っています。

この提案には農業生産法人の要件緩和や6次産業化に必要な施設の設置要件の緩和などが含まれ、TPP対応として本市農業政策に一定の効果があつるものと受けとめています。

しかし、営農規模拡大のための土地の賃貸借や、土地改良事業に関する制限の緩和に加え、国策としての海外市場開拓など、提案すべきことはまだあります。東三河地域や浜松市などと連携し、国などに働きかけていく必要があると考えています。

設楽ダム建設事業の 進捗よく状況について

豊流会 市原享吾議員



問 東三河の最重要課題、下流域の悲願ともいえる設楽ダムについて、国からの意見照会に対する愛知県知事の回答待ちの状態で止まっていると聞いている。知事への意見聴取で止まっている状態を踏まえ、設楽ダム建設事業に係る検証手続の現状認識について聞きたい。

答 設楽ダムは、洪水・濁水に備え、本市を含む豊川下流域全ての住民の安全・安心を守る施設として、長年にわたり建設を要望してきたものであり、既に建設に係る全ての法的な手続きを完了させている事業でもあります。

こうした点からも、検討の場における評価結果は妥当なものであり、設楽ダム建設事業は着実に推進されるべき事業であると認識しています。

検証手続きが滞り、設楽ダム建設事業が次の段階に進めないという現状については、大変憂

慮しており、一刻も早く本體工事に着工できるように対応していただきたいと思います。



その他の質問項目

・本市における子ども・若者の健全育成について
・豊橋市内の不用品無料回収業者について

次の意見書を可決し、国会や関係行政庁へ提出しました。

- ◆ 過労死等防止基本法の制定を求める意見書
- ◆ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

意見書

法律に基づく、市の公益に関する事柄について、議決し、豊橋市議会として意見、要望を国会や関係行政庁へ提出するものです。

本市の

入札制度検討会議について

絃基会 寺本泰之議員



問 入札は公正な競争のもと品質が確保されつつ一番低価格入札額で落札されるのが、公益になかった最も望ましい入札である。ところが本市では、一定価格を下回れば、契約履行可否の調査もなく、失格とする最低制限価格を導入している。なぜこのような制度を導入したのか聞きたい。

答 入札制度に関して、これまでの本会議においても法的根拠をはじめ、導入に至る経緯などについて、適正かつ妥当な制度運用である旨、明確に、そしてまた具体的に答弁してきました。

しかしながら、現在寺本議員は、植田小学校の電気工事に関して、公金の支出差止め請求住民訴訟を裁判所に提出されています。

これまで5回行われてきた口頭弁論において、その工事そのものではなく、入札契約制度、中でも今回ご質問のある低入

札価格調査制度、失格判断基準、さらに関連制度として、最低制限価格に加え、調査基準価格、失格判断基準を算出する上で、基礎となる予定価格、こういったものが主な論点になっています。

また、現在も継続して口頭弁論が行われており、裁判も終盤を迎えて、論点もかなり絞られてきました。

したがって、当該訴訟に関する応答は適当ではないと考え、関連するすべての答弁について差し控えたいと思います。

その他の質問項目
本市の指定管理者制度について

豊橋市民病院の

課題について

日本共産党豊橋市議員 斎藤 啓議員



問 市民病院における、看護師の増員計画の進捗よく状況、夜勤回数の状況と今後の取り組みについて、また、総合周産期母子医療センターとパースセンターの開設に向けた、助産師をはじめとしたスタッフ確保の計画と、経験やスキルを踏まえた人員構成や育成について聞きたい。

答 平成25年度における看護師の増員計画は、26名を増員することとしていますが、定数を確保できず、一部欠員となっています。質の高い看護を安定的に提供するとともに、働きやすい労働環境を整備するためにも、看護師確保は重要な課題と認識しています。

看護師の夜勤回数は、平成25年度の4月から7月では、月平均7、8回。最大12回となっています。今後も、給与面での処遇改善を初めとして、職員採用、離職防止の対策を実施する中で看護師確保を図り、

夜勤回数の削減など労働環境の整備に努めていきたいと考えています。

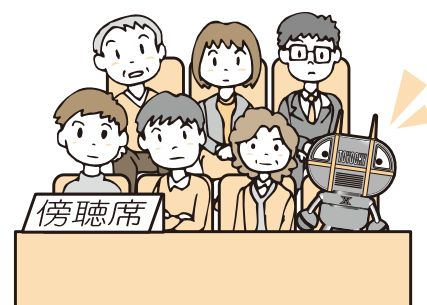
総合周産期母子医療センターとパースセンターの開設に向けては、産婦人科医師、小児科医師、助産師の増員を計画しており、助産師については今年度6名を採用しました。しかしながら、夜勤体制や育児休暇等の取得などを考慮すると、さらに10名を超える増員が望ましいと考えています。また、現在若い助産師が多いため、若手の育成を進めるとともに、経験年数のバランスも考慮して、計画的な採用に努めていきたいと考えています。

その他の質問項目
児童保育(放課後児童クラブ)における障がい児への対応について

市議会を傍聴してみませんか

- 受付場所 本会議…西館8階 議場受付
委員会…東館7階 議会事務局受付
- 手続き 傍聴受付票に住所と氏名を記入

9月定例会では延べ68人の方が本会議を傍聴されました。
次の12月定例会開催日程(予定)は14ページのとおりです。



医療・介護給付費増の

対策について

新政未来 尾崎雅輝議員



問 今後30年間の人口（高齢者人口・生産年齢人口）の変化について、増加する医療・

介護給付費に対する自治体の役割について、また、長野県や飯田市のような市民、地域、関係機関、団体と一体となった健康づくりへの取り組みの先進事例に関する認識を聞きたい。

答 医療費の増加について、現在国全体で約40兆円から、2025年には約60兆円に膨らむと推計していますが、本市の国民健康保険医療費は年間約218億円で、団塊の世代が65歳を迎えた現在からも、さらに増加が予想されています。本市の介護給付費は年間約173億円、国は総額9.4兆円に對して、2025年には21兆円程度まで増加するものと見込まれ、本市も同様に増加していくものと見込んでいます。このため、さまざまな健康づくり事業を行うことで、医療費等の適正化、

抑制に取り組んでいるところで

将来に向けた健康づくりへの取り組みについて、昨年度、第2次健康とよはし推進計画を策定し、がんや糖尿病などの生活習慣病の予防に重点的に取り組み、健康寿命の延伸を実現していきたいと考えています。この取り組みは個人、家庭、地域、学校、企業、行政がそれぞれ実施していくとともに必要に応じ、連携がとれる体制ができています。

今後におきましても、よい先進事例があれば参考にして、事業に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

・豊橋市の森林政策について

農業後継者の

育成について

豊流会 向坂秀之議員



問 農業後継者の状況と後継者育成の必要性について、ま

た、後継者を育成確保するための取り組みと課題について聞きたい。

答 後継者の確保に一定のめどがついている農家は約40%にとどまり、残りの60%の農家では、

今なお後継者の当てがないまま農業を続けているのが現状です。そのようなことから、農業後継者の育成確保は今後における地域農業の維持発展のために最も重要な取り組みの一つであり、今以上に積極的な展開を進めていく必要があると認識しています。

育成確保のための取り組みについては、農業を「労力に合った対価を得ることができ、将来の見える産業」にすることが最も大切であり、そのためには、農家自らが新しい挑戦に取り組める環境づくりを積極的に支援していくことが重要だと考えています。また、具体的な取

り組みとして、経営の効率化を促進する農地の集約など、農業委員会や農協と連携し、利用権設定等促進事業や、農地利用集積円滑化事業などを通じて、毎年100ヘクタール以上の農地の集積を行っています。

今後の課題として、研修等については、農家に参加しやすい時間割の工夫や、現場の課題に合わせた綿密なテーマの設定などが重要であると考えています。

また、効率的な農業の推進には、関係者が農地の面的集積や法人化を地域で話し合う場をいかに確保していくかなどが、率先して取り組むべき課題であると考えています。



議場見学

本会議場を見たい、市議会の概要の説明が聞きたいなど、見学の希望があったら議会事務局まで連絡してね。

○受付場所 東館7階 議会事務局
TEL 51-2920

行政財産の更なる 利活用について

まちフォーラム 廣田 勉議員



問 地方自治法改正により、本庁舎や学校、公園などの行政財産のうち施設等の一部に余裕がある場合、貸し付けが可能となったが、本市の考え方について、また、行政財産の利活用の取組としてネーミングライツを導入する自治体も多いが、導入する考えについて聞きたい。

答 行政財産の遊休空間については、市有資産の適正管理という観点から、従来の目的外使用許可の他、利用ニーズや活用方法、さらには目的外使用とのすみ分けなどを整理検討する中で、貸し付けも視野に入れた資産の有効活用に努めていきたいと考えています。また、公共施設の整備予定地等についても、資材置き場等、暫定期間の貸し付けによる活用を図ってきたいと考えています。

また、ネーミングライツについては、既に幾つかの自治体において取り組まれていますし、自

主財源確保のためのひとつの有効な手法と認識しています。

導入に当たっては、施設の商業的価値の有無が前提になりますが、対象となる施設の範囲や、企業選定に当たっての考え方、さらには公共施設への命名に対する市民感情などの問題について、一定の整理を行った上で、本市としての方向性を見出していききたいと考えています。

MEMO

※ネーミングライツ
公共施設などの名称に企業の社名等を付与する代わりに、当該団体より対価等を得て、施設の持続可能な運営に資する方法

その他の質問項目

- ・本市における指定管理者制度について
- ・高齢者が安心して暮らすことができる住宅政策の在り方について

犬猫の殺処分ゼロへの 取り組みについて

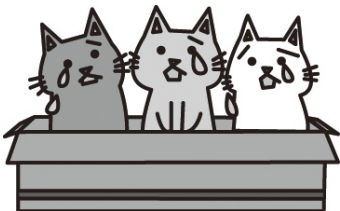
公明党豊橋市議員 宮澤佐知子議員



問 この9月に改正動物愛護管理法が施行されたが、①最後まで飼う②インターネットによる販売規制③売れ残った犬猫等の引き取り拒否④保護施設の設定⑤動物愛護団体との連携について、どのように取り組むのか、また本市の児童作文「78円の命」について聞きたい。

答 ①は「終生飼養」の原則について説明し、継続して飼えない場合は、みずからの責任で新たな飼い主を探すよう指導しています。②は、犬猫の「現物確認と対面説明」をすることが義務づけられ、インターネットのみで販売契約を成立することが禁止されたため、県の動物保護管理センターと連携して対応していきます。③は、各種リーフレットや広報などで広く啓発を行っています。④は、保管管理と処分業務を県に委託していますが、他都市の動物愛護施設の状況などを引き続き勉強していきま

す。⑤は、専門分野に精通し、行政と異なった視点から事業を展開できる動物愛護団体の役割は大切で、主に「飼い主のいない猫」問題では協力を得ています。また、本市の児童作文「78円の命」が訴える、命あるものを慈しむ作者の強い思いは、授業の題材や家庭への啓発資料として活用しながら、親子で考える場を提示していききたいと考えています。



その他の質問項目

- ・自転車を活用するための施策について
- ・本市の文化振興のため、新たに整備された穂の国とよはし芸術劇場(ラット)とアイブラザ豊橋について
- ・「こみ屋敷」に対する現状認識と課題について

委員会の動き

環境経済委員会

豊橋市中心市街地活性化基本計画

現行計画の総括と次期計画の基本的方針(案)について

(8月26日)

建設消防委員会

のんほいパーク100万人プロジェクトの推進に向けて

—現状と今後の展開について—

(8月26日)

総務委員会

施設評価と施設保全計画の考え方等について

・豊橋市情報化計画(中間報告)
・豊橋市多文化共生推進計画の見直しの考え方について

(9月26日)

自殺防止対策の

更なる強化について

公明党豊橋市議員 鈴木 博議員



問 自殺防止対策のため、*ゲートキーパー養成研修の受講人数の拡大と、受講者のレベルアップ研修に取り組んでいく考えについて、また、大手企業に比べ、社員の心の病への相談体制の整備が十分でない中小企業への対応および連携について聞きたい。

答 ゲートキーパー研修については、民生委員等関係者には、うつ病に対する知識や相談窓口の紹介などの内容とし、市の窓口職員や介護職員などには、事例検討を取り入れた実務に即した内容とするなど、階層別の研修を行っています。今後は、ゲートキーパーの対象職種を広げるとともに、階層別のさらに詳しい研修の実施を進め、資質の向上と合わせて人数の拡大を図っていきたいと考えています。

中小企業への対応について、自殺予防には企業との連携が必要不可欠であると考えてお

り、年1回の連絡交流会における相談窓口の紹介や年4回発行する情報誌の中で心の健康や自殺予防週間などについての情報提供を行っています。

また、商工会議所や東三河地域産業保健センターなどと連携し、うつ病等に対する知識の啓発や相談窓口の周知などに努めています。今後は、連携企業を拡大するようにさらに努めていきたいと考えています。

MEMO

※ゲートキーパー
悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を用いて、必要な支援につなげ見守る人のこと

その他の質問項目

・本市の健康長寿及び医療費削減の取り組みについて
・本市の狹隘道路政策について

空き家に対する

問題について

新政未来 渡辺 誠議員



問 今後、ますます増えるであろう適正に管理されていない空き家問題に対して、本市としてどのような方向性を持って、問題解決に向けて対応していくのが聞きたい。

答 現在、建築指導課には年間平均10件程度の空き屋に対する相談が寄せられており、必要な場合は関係する課が連携して対応しています。

所有者などが特定され、文書でお願いをしたにもかかわらず回答がないものや、改善が見られないものについては、粘り強く繰り返しお願いしていますが、所有者に対応能力がない場合など、解決に至らない場合が多くあり、対応に苦慮しています。

空き家問題は本市だけの問題ではなく、国・愛知県においても重要な課題となっています。今年5月に、愛知県庁で国土交通省による空き家問題の現状と取り組みについての講演があり、本市も参加して勉強してき

ました。

空き家問題に関わる課による「空き家対策ワーキンググループ」を立ち上げ、空き家の管理条例、空き家調査の方法、空き家の活用方法、庁内での連携を含めた市民の方が相談しやすい体制づくりなど、空き家対策について調査、研究をしています。

その他の質問項目

・異常気象(渇水、豪雨)と設楽ダム
の意義について

福祉教育委員会

豊橋市障害者福祉計画改訂の考え方について

グローバル社会にはばたく子どもの育成

「英会話のできる豊橋っ子育成プラン」の成果と課題、今後の展望

(10月7日)

議会活性化等

調査特別委員会

本特別委員会の取り組みの方向性について

(8月7日)

今後の取り組み事項について

(9月27日)

地震対策

調査特別委員会

平成25年度の防災(減災)対策事業

(8月19日)

東三河広域連合

調査特別委員会

東三河広域連合(仮称)に
ついて

(9月24日)

指定避難所の 安全性について

新政未来 佐藤多一議員



問 南海トラフ巨大地震による避難所開設に当たり、本震前に起こる前震の影響や、本震後に多発すると思われる余震に建物が耐えられるかという安全面での判断が必要である。こうした点検や安全性の判断は、かなりの専門的な知識が必要であるが、誰がどのように行うのか聞きたい。

答 避難所を開設する前の、施設の点検・安全性の判断について、本市の指定避難所は、基本的に施設の安全性は確保されていると判断していますが、余震等に対しても利用される方々が不安にならないように、開設前に安全面を判断することとは重要であると考えています。

そこで、災害対策本部機構中の生活再建支援部建築物班で、市有建築物の安全性確認のチェックリストを作成し、被災者救済部福祉支援班と連携して本年1月末に避難所要員に対して、「避難所開設・運営マニ

ユアル及び大規模地震時の公共建築物の安全性確認に関する講習会」を開催し周知を図っており、今後も定期的に開催を予定しています。その概要としては、判断には迅速さが求められますので、まずは専門的な知識を持たない避難所要員が目視で行える基礎的な項目によりチェックを行い、一つでも該当しない項目があれば対策本部に連絡し、建築技師等専門家の判断を求める内容としています。

その他の質問項目

・職員の自主・自立意識と管理職の業務管理意識の高揚について

委員会の視察

他市の先進事例を本市の行政運営に生かすために、先進地の視察を行いました。

議会運営委員会 8月5日～6日

議会運営について（姫路市、大津市）

姫路市では、一問一答制の導入内容、また反問権のメリット・デメリットについて調査研究しました。

大津市では、政策検討会議と政策検討会議アドバイザー制度について、設置することによって得られる効果、大学等との連携の在り方について調査研究しました。



姫路市議会での視察の様子



大津市議会 議場

議会活性化等調査特別委員会 8月21日～22日

議会活性化について（亀岡市、明石市）

亀岡市と明石市へ議会活性化（主に政治倫理条例、議会報告会）について調査研究を行うため、視察に行きました。

政治倫理条例については、規定する内容や協議過程などについて調査研究し、議会報告会については、報告する内容、議員の役割、課題などを調査研究しました。



亀岡市議会議長より説明を受けました



明石市議会での視察の様子

豊橋市内の調査研究、現況把握をするために、3つの常任委員会で所管施設等の視察を行いました。

建設消防委員会 7月26日

柳生川南部土地区画整理事業1号調整池、豊川浄化センター、国道23号豊橋バイパス、牛川トンネル(仮称)、総合動植物公園

牛川トンネル(仮称)は豊橋市の多米地区と牛川地区を結ぶ延長630メートルのトンネルで、平成27年3月完成予定です。

のんほいパークでは未来型電動二輪車「セグウェイ」に乗りながら散策することができます。インストラクターによる乗車講習もあるので、初心者でも安心です。



牛川トンネル(仮称)



セグウェイの試乗を体験

環境経済委員会 8月2日

豊川浄化センター、プジョー・シトロエン新車整備工場、ソーラーファームとよはし、洋ラン農家、豊橋技術科学大学

豊橋技術科学大学の人間・ロボット共生リサーチセンターで、全方向移動車椅子を試乗しました。移動方向に制限がなく、パワーアシストシステムといった介助者の操作力を増幅し、車輪へ伝達することで少ない力で楽に移動することが可能です。



洋ラン農家



豊橋技術科学大学の人間・ロボット共生RC

福祉教育委員会 8月8日

こども未来館、豊橋市文化財センター、豊橋市民病院

豊橋市民病院では、バースセンターと手術支援ロボット「ダヴィンチ」を見学しました。バースセンターは平成26年度開設予定で現在も工事が進められています。「ダヴィンチ」は平成25年度10月より前立腺がん摘出手術において使用していきます。



バースセンターの一室



ダヴィンチの操作体験



東三河市町村議会議長協議会 議員研修会

8月31日(土)、山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏を講師に招き、東三河市町村議会議長協議会 議員研修会(テーマ:「地方議会の視点から考えるべき、広域連合の論点について」)が豊橋市役所13階講堂にて開催されました。

請願・陳情の意見陳述ができるようになりました

請願・陳情とは

市政などにご意見や要望などがあるときは、どなたでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願の提出については、市議会議員の紹介が必要です。また受理した請願は、委員会で審査し、本会議で「採択」や「不採択」などの決定をします。その後、請願者に結果を報告します。

陳情の提出については、市議会議員の紹介は必要ありません。また受理した陳情は、委員会で審査しますが、「採択」や「不採択」などの結論は出さない取り扱いとなります。

委員会審査における請願・陳情者の意見陳述について

請願・陳情者の意見陳述を希望する場合、議会運営委員会が必要と認めたときは、審査する委員会において、意見陳述（請願・陳情内容の趣旨の説明及び補足説明）を行うことができます。

・ 請願・陳情の意見陳述を希望される方は提出締切日時までに、所定の意見陳述申出書（ホームページよりダウンロードできます）を議会事務局に提出して下さい。

※ 郵送による提出はできません。

・ 申出者（陳述者）は請願・陳情者のうちの代表者1名とします。

・ 意見陳述の内容については、当該請願・陳情内容の趣旨の説明及び補足説明とします。

・ 意見陳述の時間は5分以内とします。


詳細については議会事務局（51-2920）までお問い合わせください。

12月定例会の開催日程（予定）




会期：12月2日（月）～12日（木）

請願・陳情の締切は
11月26日（火）17時

質問項目のHP掲載日は
11月29日（金）

 はケーブルテレビ、
インターネット中継日

日程は変更になる場合
もありますので、傍聴の
際には議会事務局
(51-2920)までお問い
合わせください。

12月 2日(月)	10時	 本会議（一般質問など）	議場（西館8階）
3日(火)	〃	 〃 （一般質問など）	〃
4日(水)	〃	 〃 （質問者が11人以上の場合）	〃
5日(木)	10時	常任委員会（議案審査など）	第2委員会室（西館7階）
	13時	〃	〃
6日(金)	10時	〃	〃
	13時	〃	〃
9日(月)	10時	一般会計予算特別委員会 （補正予算審査など）	第1委員会室（西館7階）
12日(木)	13時	本会議（議決など）	議場（西館8階）

※ 本会議を含めすべての会議が傍聴できます

編集委員会委員
堀田伸一
渡辺則子
松崎正尚
尾林伸治
星野隆輝
斎藤啓